

2022平和行動in広島

参加者からのピースメッセージ

今回、2022平和行動in広島（8/5～8/6）に参加させていただきました。

『被爆路面電車での乗車学習会』では、連合広島の青年委員会メンバーが「ピースガイド」として案内役を務められ、あの惨事を風化させてはいけないとの思いをしっかりと持たれ説明していただいたことが印象深く残っています。

『平和記念資料館』での写真や資料は何回拝見させていただいても衝撃的で、溢れそうな涙を抑えることが出来ませんでした。

そして『被爆77年2022平和ヒロシマ集会』では、広島県原爆被害者団体協議会の切明千枝子さんから、被爆体験証言を聞かせていただきました。生々しい実体験は、現在の平和な時代に生きている私には身につまされるお話でした。

私はこの2日間の感じたことを一人でも多くの方々に語り、改めて核兵器廃絶、そして世界の恒久平和の実現に向けて微力ではあるが訴えていかねばと思っています。

貴重な体験の機会を与えていただきありがとうございました。（Aさん）

核兵器の使用は、悲惨な悲劇しか生まない。

核兵器の使用の有無以前に世界の人々が戦争がない平和は世界へ。

（Oさん）

今回の平和行動in広島で、初めて広島へ行きました。戦争や核兵器については、これまで日本史などの授業で学んだきりでした。路面電車から見た市内を流れる川などは、確かに教科書で見た風景とよく似ていましたが、高いビルが建ち並んでおり、少し想像とは違って見えました。

しかし原爆ドームは、想像通りの状態でそこにありました。実物を見たときに、とにかく胸がいっぱいになりましたが、原因ははっきりとはわかりませんでした。

広島平和記念資料館には、原爆が投下された頃の風景や状況、また、物や人々など、様々な展示がありました。連合2022ヒロシマ集会では、実際に被爆された方の実体験を聞きました。原爆というものを、頭だけでなく、体全体で受け止めたような衝撃を感じました。

広島は、戦争の悲惨さや、繰り返してはならないという思い、核兵器の恐ろしさを心から訴えようとする思いで溢れていました。これを風化させず引き継いでいくこと、そして平和に向けた行動を、少しでも継続して行っていきたいと思いました。（S.Mさん）

8月5日～6日までの2日間、2022平和行動in広島に参加させていただきました。

初日は被爆路面電車に乗車しました。この電車は被爆当時から運行していた路面電車です。当時の被爆した場所をめぐりました。現在の広島市内は整備されており、きれいな街並みが広がっていますが、その街並みの中にシダレヤナギや旧日本銀行広島支店など被爆した当時の状態の情景も広がり、原子爆弾による被害の重さと繰り返してはいけない過ちだと深く感じることができました。乗車後に見学した、広島平和記念資料館にて、被災直後の写真を見て、戦争の悲惨さと多くの犠牲の上に今の広島市があることを感じました。

夕方からは連合2022平和ヒロシマ集会に参加しました。その中で実際に被爆された切明千枝子さんのお話を聞かせていただきました。戦争から77年たった当時のことを鮮明に教えてくださり、戦争の悲惨を教えてくださいました。私たちの今の暮らしは先人たちの犠牲、努力によって住みよい生活ができていることを胸に秘め、平和に向けての活動を微力ながら続けていきたいと思いました。

（T.Mさん）